

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 Kきつずみぶ

公表日 令和7年 3月 14日

利用児童数 令和7年 3月 14日 8名

回収数 3名 (38%)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	1	1		1	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2	1			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3				
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2	1			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2			1	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2			1	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2			1	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2			1	
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2			1	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2			1	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2			1	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	2	1			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2	1			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	1			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1			2	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2			1	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	3				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	3				
	29	事業所の支援に満足していますか。	3				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		Kきつづみぶ				公表日	令和7年 3月 14日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・部屋数あり。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・基準の配置は満たされている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・バリアフリー対象児なしのため現状はなし。 ・絵カード等を使って構造化している。	・今後必要に応じて対応。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・支援後清掃を行っている。 ・活動内容に合わせて部屋、空間を調節している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・特性、状態に合わせて対応している。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・ミーティングを通じて個人の振り返りを行っている。 ・相談シートの活用を行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者様向けアンケートを実施。 ・ニーズの確認、改善。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・業務会議にて共有を図っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・定期的の実施(部会、事業所内、外部)		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・HPにてプログラム内容を公表。 ・連絡アプリにて保護者様に公表。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・半年に一度モニタリングを行っている。 (必要に応じて期間の変更あり) ・アセスメントシートを使用している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・職員の意見を参考にし、ミーティングで共通理解を強化する。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・ケア会議にて共有。	・より良い支援に繋げていく。 ・具体的な共有に努める。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・標準化されたアセスメントシートを使用。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・ガイドラインを参考に設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・各自の案を組み入れ、共有、検討しながら進めている。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・固定化した方がよいこともあるため状況に合わせて工夫している。	・全体での活動を月案作成し進めていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・全利用児、個別活動と集団活動に参加している。その際、児童に合わせて支援内容を考えている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・業務開始前に共有。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・翌日の朝振り返り、共有。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・その日に改善策を検討。 ・時間をかけて検討していく内容もある。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・半年に一回モニタリングを行っている。 ・状況に合わせて随時対応している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達支援管理責任者の他に保育士が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・必要に応じて随時行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・施設の見学や情報共有を必要に応じて実施。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・保護者様のご要望に応じて実施している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○		・壬生町連携会議に参加し、地域全体の質の向上に取り組んでいる。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		・定期的に外部研修に参加している。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		・壬生町連携会議にて研修の機会や助言を受ける機会はある。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		・児童館、公園の利用を通して他の児童との交流をもっている。	・保護者様への周知の仕方を工夫していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・送迎時に共有。 ・連絡アプリの活用。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			・今後実施予定。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に確認を行っている。 ・運営規定など手元にあるため保護者様がいつでも確認できるようにしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・モニタリングを通じて把握。 ・送迎時や連絡アプリ、ご相談連絡にて確認。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			・密に説明していけるよう工夫していく。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・相談内容に関して早急に対応できるよう心掛けている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・親子B B Q実施。 ・親子イベントを企画中。	・今後も交流の場を計画していく。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・相談内容に関して早急に対応できるよう心掛けている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・HP、ブログ、連絡アプリにて発信。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・職員一人一人が常に意識している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・マカトン、筆談、ジェスチャー等、児童や保護者様に合わせて意思疎通に努めている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・まちなかの展覧会イベントに招待。 ・福祉祭りや防災イベントなど地域のイベントに参加。	・保護者様への周知の仕方を工夫していく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・避難訓練月一実施。 ・保護者様へ通知。	・保護者様への周知の仕方を工夫していく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・外部研修の実施。 ・避難訓練月一実施。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・お薬手帳のコピーでの把握やモニタリング時に確認	・予防接種の確認を今後は行っていく。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・保護者様から共有して頂く。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画の他、避難経路確保計画を作成 ・訓練を通して共有	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			・定期的にお知らせしていく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・防災訓練、点検、見回りを行い危険箇所などの共有改善を図っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・定期的実施。（会社全体、事業所内） ・虐待防止委員会を設置し職員も参加している。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・個別新計画に記載している。 ・契約時に説明 ・報告書も準備している。		

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	Kきっずみぶ		
○保護者評価実施期間	令和6年 11月 15日		～ 令和6年 12月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 3名
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 15日		～ 令和7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 14日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもの活動等のスペースが十分に確保されている。	・部屋数があるため子どもの状況に合わせた環境設定が可能。 ・用途に合わせて部屋を使い分けている。 ・月一園庭や講堂など事業所内外の点検を行っている。	・講堂で使用できる道具の充実を図り、活動内容を充実させる。
2	・プログラムが固定化されないよう工夫している。	・異年齢児との交流を意識的に取り入れ、社会性を育てる。 ・他事業所(Kきっずグループ)児童との交流の機会を設ける。 ・グループに沿って活動を行い生活力の向上、社会性や学習能力の向上を図る。 ・職員全員でプログラムを考え可視化し共有。	・地域交流の機会を増やしていく。
3	・非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 ・安全計画を作成し研修や訓練が行われているか。	・外部の研修を受けている。 ・地域の防災訓練に参加している。 ・連絡アプリで活動を報告し保護者様と共有を図っている。 ・月一の避難訓練を欠かさず行っている。 ・避難経路を作成し、事業所内に掲示し職員の共有を図っている。また、保護者様にも周知している。	・避難訓練の様子や活動内容を全体発信していく。 ・わかりやすく可視化する。 ・マニュアルの周知を行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・父母の会の活動支援、保護者会などの実施、保護者同士での交流の機会を設ける等の支援をしているか。	・今年度保護者様同士で交流を持てるイベントを計画実施。回数が少なかった。	・保護者様交流の機会を設けていく。 ・イベントの周知を早めに行う。
2	・家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対しての家族支援プログラムや家族などの参加できる研修の機会や情報提供を行っているか。	・家族に向けた研修を行える環境になかった。	・研修だけではなく情報提供できる場を設けていく。 ・家族支援研修の実施を検討中。
3	・保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他のこどもと活動する機会があるか。	・長期休みや放課後の空き時間を使って児童館を利用したり、公園に出かけて課外学習を行っている。その際、他児との交流場面もある。	・地域交流を活動内容に組み込んでいく。 ・広報の見直しを行い、活動内容をわかりやすく工夫する(写真や文字) ・連絡アプリにて活動を報告していく。